

シンガポールの近況とこれから

シンガポールデスク 関 泰二

アジアNo.1の「高コスト社会」と、午年・旧正月に活気づく市場の光景

2026年2月のシンガポールは、アジア屈指の物価・生活費の高さを背景にしながらも、旧正月特有の華やかでエネルギッシュな熱気に包まれています。2025年のシンガポールGDP成長率は4.8%と、当初の予測を上回りました。しかし、その堅調な経済指標の一方で、市民生活や中小企業の経営環境にはかつてないほどの緊張感が漂っています。

特に飲食業界（F&B）は極めて厳しい局面にあります。家賃高騰、深刻な人手不足による人件費増大、今年1月からのカーボン税増税に伴う光熱費上昇が、店舗経営を直撃しています。2024年の閉店数は3,047件と「2005年以来の最多」を記録。老舗ホーカーや有名レストランでさえ、家賃倍増に耐えきれず閉店するケースが相次いでいます。「単に美味しい」だけでは生き残れず、デジタル活用による効率化か、ブランド力を活かした高価格帯への移行か、明確な経営戦略の選択が求められています。



出典:Singapore Tourism Board (© Singapore Tourism Board)

住宅市場：ピークを越え、安定化の兆し

生活環境における最大の課題は「家賃」です。私営住宅の賃料は2022年に29.7%、2023年に8.7%上昇し、2013年以来の最高水準に達しました。HDB（公営住宅）も2022年に28.5%、2023年に10.2%という急騰を記録しています。しかし2024年以降、市場は調整期に入りました。私営住宅は2024年に1.9%下落、2025年は約2.5～3%の緩やかな上昇で安定化。HDBも2024年は3.7%、2025年は1.4%の上昇にとどまりました。

それでも絶対的な賃料水準は高く、所得の3～5割が住居費に消えるケースも珍しくありません。若く優秀な人材の確保が難しくなり、企業にとっては無視できないビジネスリスクとなっています。一方で2026年には約7,000戸の私営住宅と13,500戸のHDB（前年比69%増）が供給予定で、賃料のさらなる安定化が見込まれています。

旧正月がもたらす活気と商機

2026年2月17日から始まった旧正月は「午年」にあたり、街全体にエネルギッシュなムードが漂っています。チャイナタウンをはじめ主要エリアは赤を基調とした装飾で彩られ、「馬」の巨大なランタンが「馬到成功」の願いを込めて街を照らしています。こうした祝祭ムードは単なる年中行事にとどまりません。海外から戻る現地の人々や観光客が増えるこの時期は、飲食・小売業にとって絶好の商機です。

旧正月の「リユニオン・ディナー」の文化は今も健在です。大晦日に家族が集まり、魚生（ユーシェン）を放り投げながら幸福を願う「撈起（ローヘイ）」は、この国のアイデンティティそのもの。紅包や贈答品、会食への支出は、企業の年間売上にも直結する重要な商機となっています。



出典:Singapore Tourism Board (© Singapore Tourism Board)

これからのシンガポール

「高コストでも拠点を置く価値があるか」シンガポールは世界にこの問いを突きつけています。経営難易度は上がりましたが、経済規模、インフラの成熟度、AI・デジタル投資のスピード感は、依然としてアジアNo.1の魅力を放っています。

住宅市場の安定化は歓迎すべき兆候ですが、コスト水準は依然高く、これから進出を検討する企業にとり慎重な財務管理が欠かせません。スピード感ある意思決定と柔軟な財務戦略で、この活気あふれる都市国家の新たな機会を掴んでいきましょう。

【引用・参考文献】

- [1] ジェトロ「2025年GDP成長率は前年比4.8%」2026年1月7日
- [2] AsiaX「シンガポールで2024年に3000軒以上の飲食店が閉店」2025年2月4日
- [3] Foreland Realty「22年4Qのシンガポール住宅賃料は29.7%増」2023年1月30日
- [4] SRX「Condo Rents Increase by 3.0% in December 2022」2023年1月31日
- [5] Business Times「HDB flat rents rose 10% in 2023」2024年4月2日
- [6] The Straits Times「Rental market stabilises」2025年12月29日
- [7] The Straits Times「Over 13400 HDB flats to reach MOP in 2026」2025年12月28日

データ提供：シンガポール貿易産業省（MTI）、都市再開発庁（URA）、会計・企業規制庁（ACRA）、SRX、OrangeTee & Tie

ひょうご海外ビジネスセンターは、世界10カ所に海外展開現地相談窓口として「ひょうご国際ビジネスサポートデスク」を設置しています。本通信は、毎月1回、各デスクから寄せられる現地トピックスを順にお届けするものです。

【発行 公益財団法人ひょうご産業活性化センター ひょうご海外ビジネスセンター】